

令和2年1月16日

神奈川県知事 黒岩 祐治 殿

神奈川県ボランティア活動推進基金審査会
会 長 長坂 寿久

令和2年度実施分ボランティア団体成長支援の
対象となる取組の決定について（答申）

令和元年9月26日付け県サ第1359号をもって諮問のあった標記について、別紙のとおり答申します。

(別紙)

令和2年度実施分ボランティア団体成長支援の対象となる取組の決定について

1 選考した事業

受付番号 2-5-3

団体名 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

事業名 セルフチェックによる組織課題の可視化と組織のリデザイン事業

2 選考日

令和元年12月18日(水)

3 審査会のコメント

中間支援組織としての県内のボランティア団体の課題を明確に認識しており、その課題認識に基づいた地に足が着いた提案と評価しました。問診型シートを、団体内の様々な立場の人たちで検討し、団体自身で課題に気付くとともに、その気付きを関係者で共有することにより団体自らの変革へのエネルギーを開放する、というアプローチは、団体が単にセルフチェックをするのとは異なり、団体の主体性を尊重したものと言えます。一方で、「内発性を支援する」という方法は、ともすると、気付きや課題発見し共有した時点で団体が満足してしまうこともあります。伴走支援が、内発性を支援することにとどまらず、その気付きが何らかの形で団体の課題解決につなげることができるよう、継続的に支援してくださるようお願いいたします。

問診型シートは、現在まで行われた試験的な活用では、より多くの団体への活用もされているようです。この事業でも、最終的に伴走支援につながる団体に加えて、より多くの団体への活用を検討してほしいと思います。また、団体の人数要件も、より小規模な団体にも門戸が開かれるよう工夫をお願いします。

なお、対象団体の要件や総数については、ボランティア団体成長支援事業の目的に照らし合わせて、再検討してもらうこととなりますので、ご承知おきください。

この事業によって、団体それぞれのリデザインがなされ、「参加による信頼性の向上」が促進されることを期待しています。